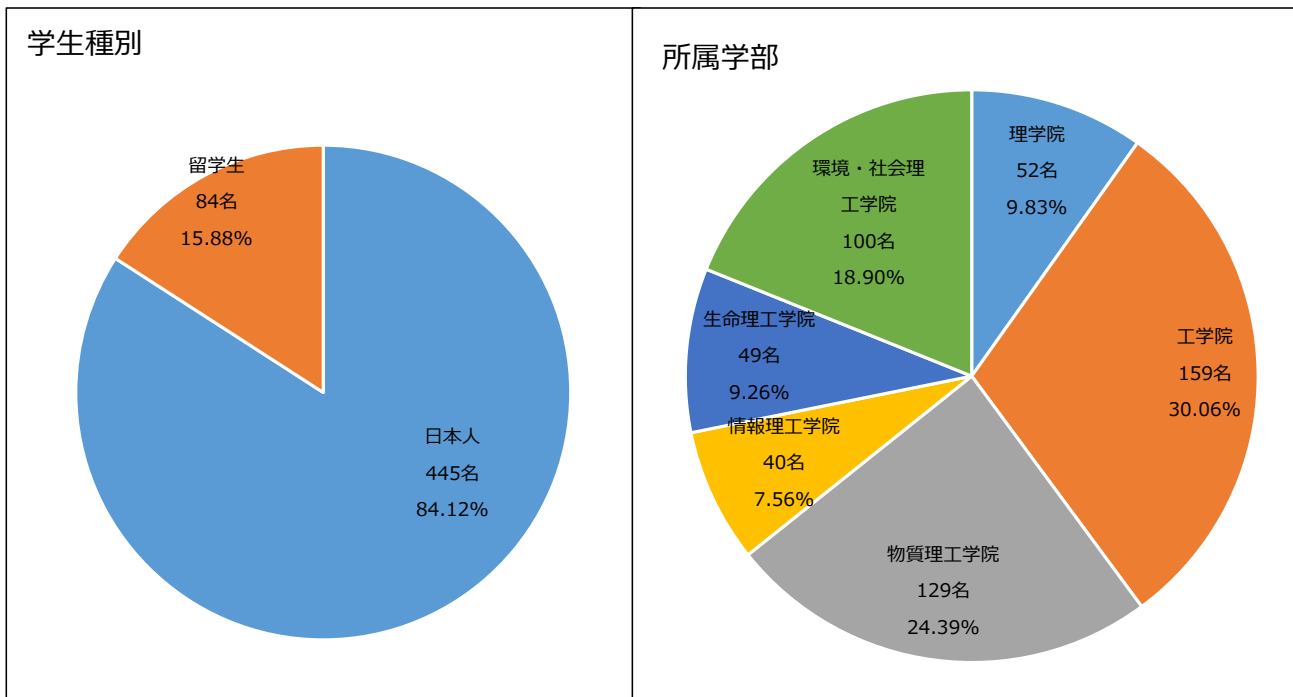


令和4年度 教育改善に関するアンケート〈修士課程〉

基本統計量

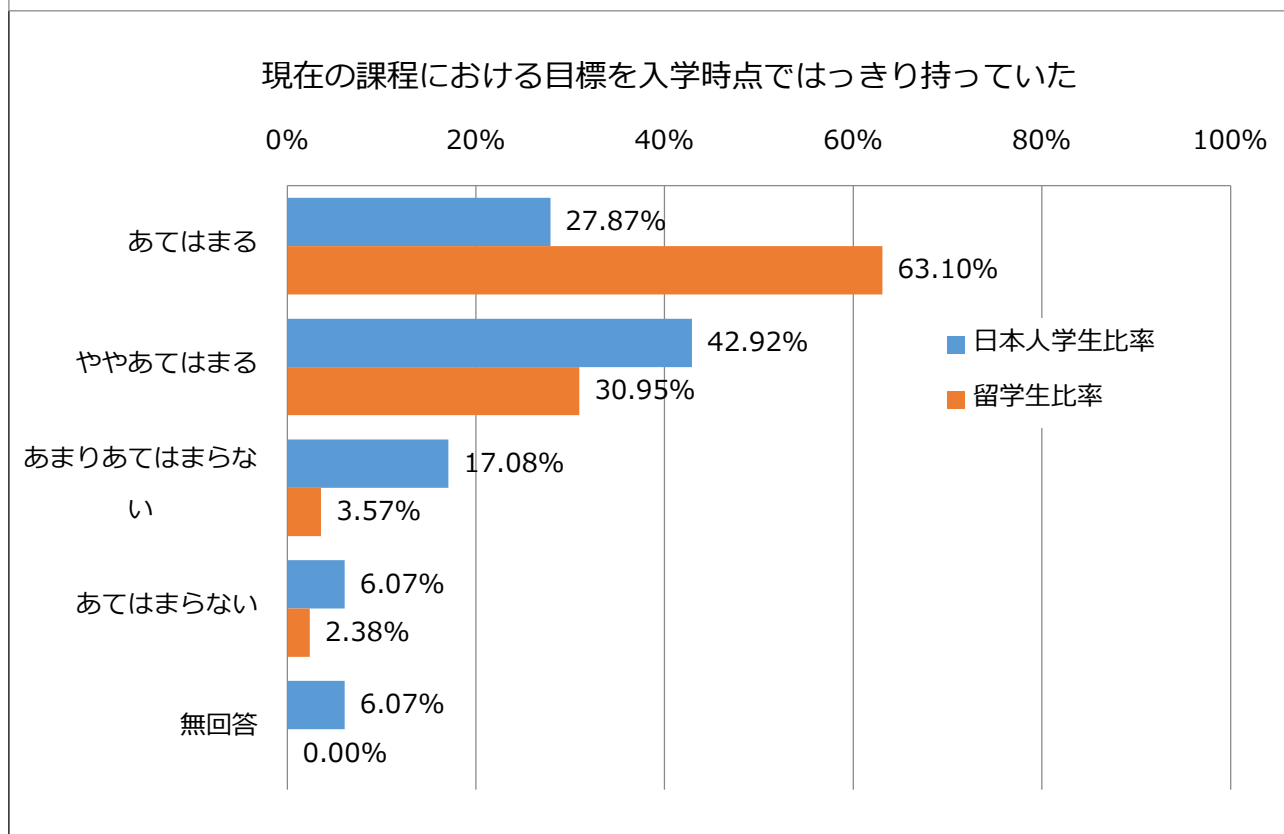
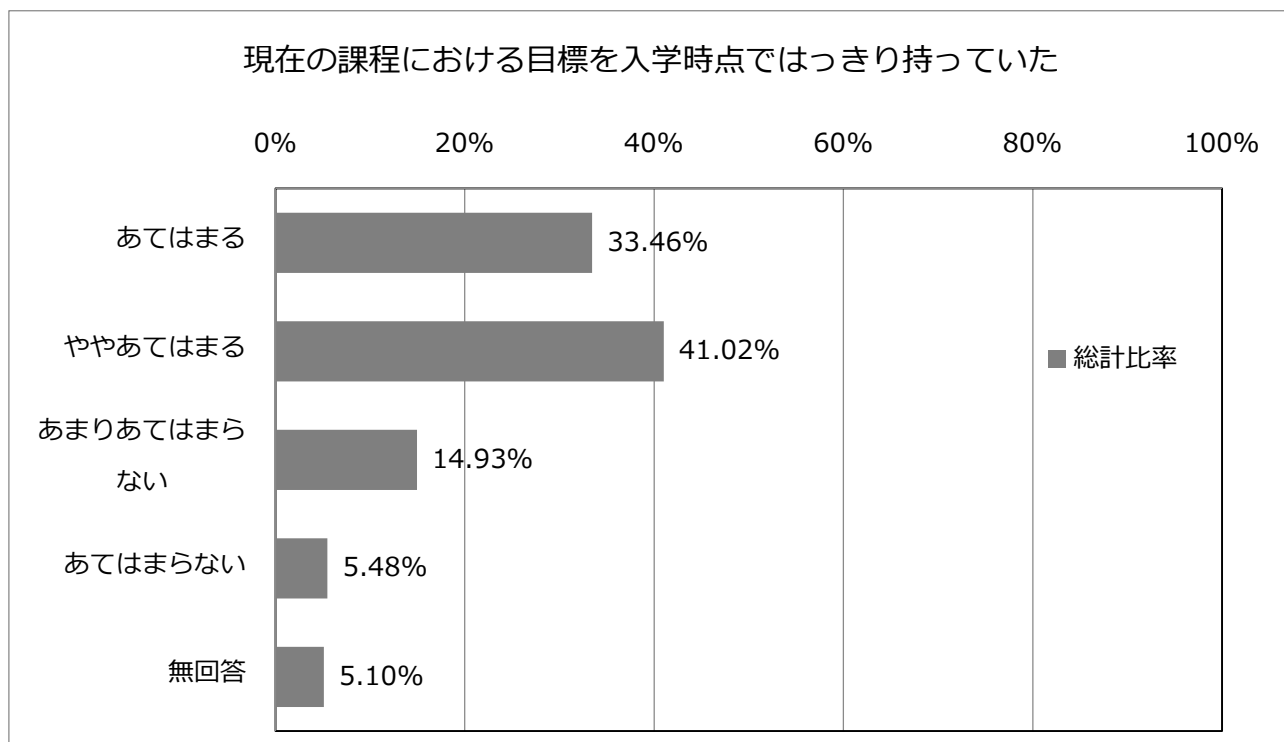


学生種別	人数	割合
日本人	445	84.12%
留学生	84	15.88%
総計	529	100.00%

所属学部	日本人学生	留学生	総計	割合
理学院	50	2	52	9.83%
工学院	128	31	159	30.06%
物質理工学院	117	12	129	24.39%
情報理工学院	36	4	40	7.56%
生命理工学院	41	8	49	9.26%
環境・社会理工学院	73	27	100	18.90%
総計	445	84	529	100.00%

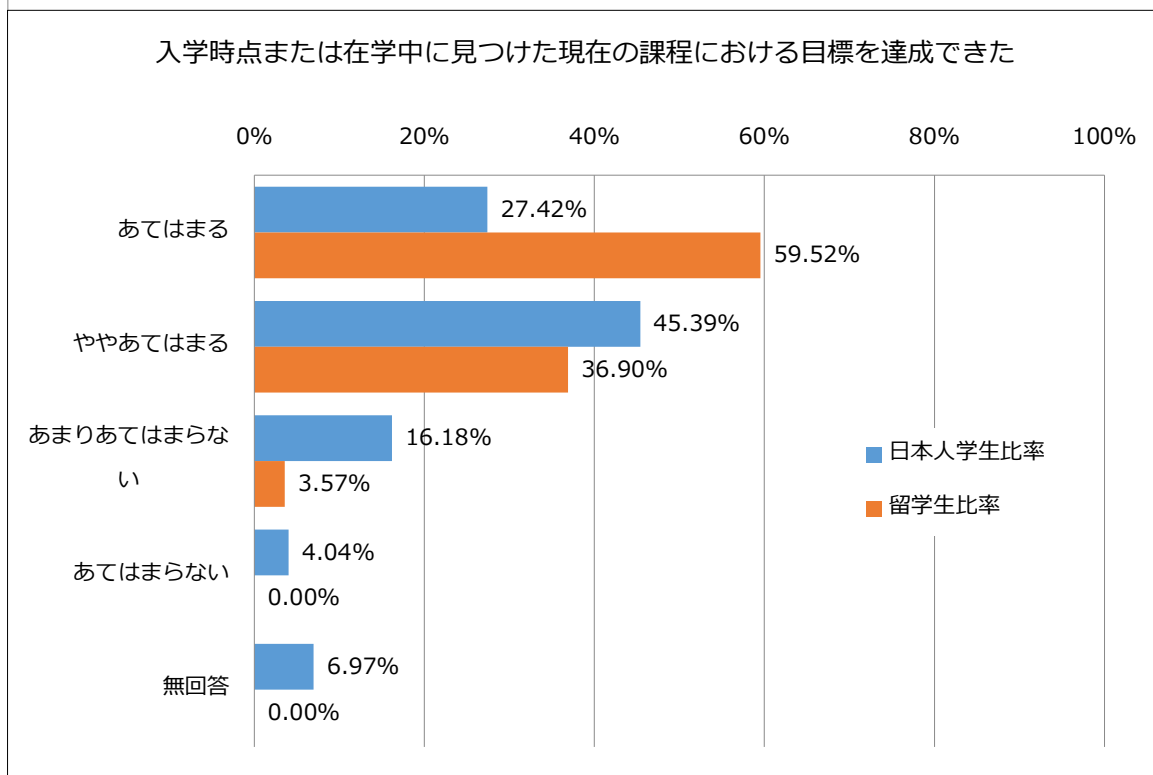
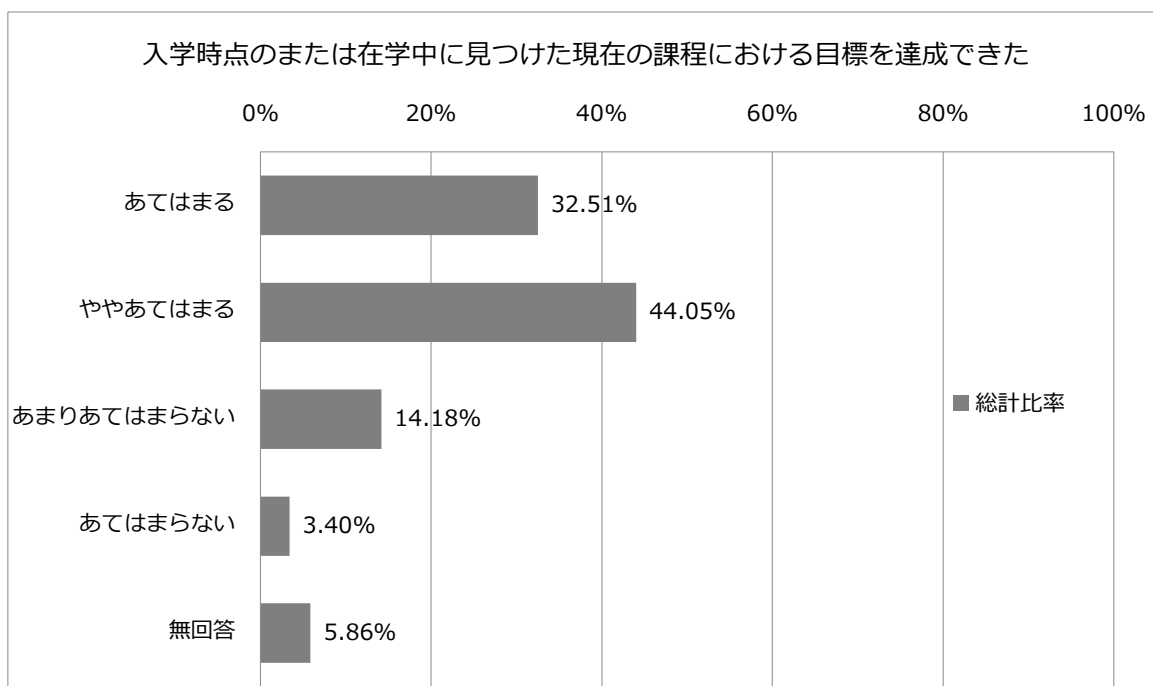
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

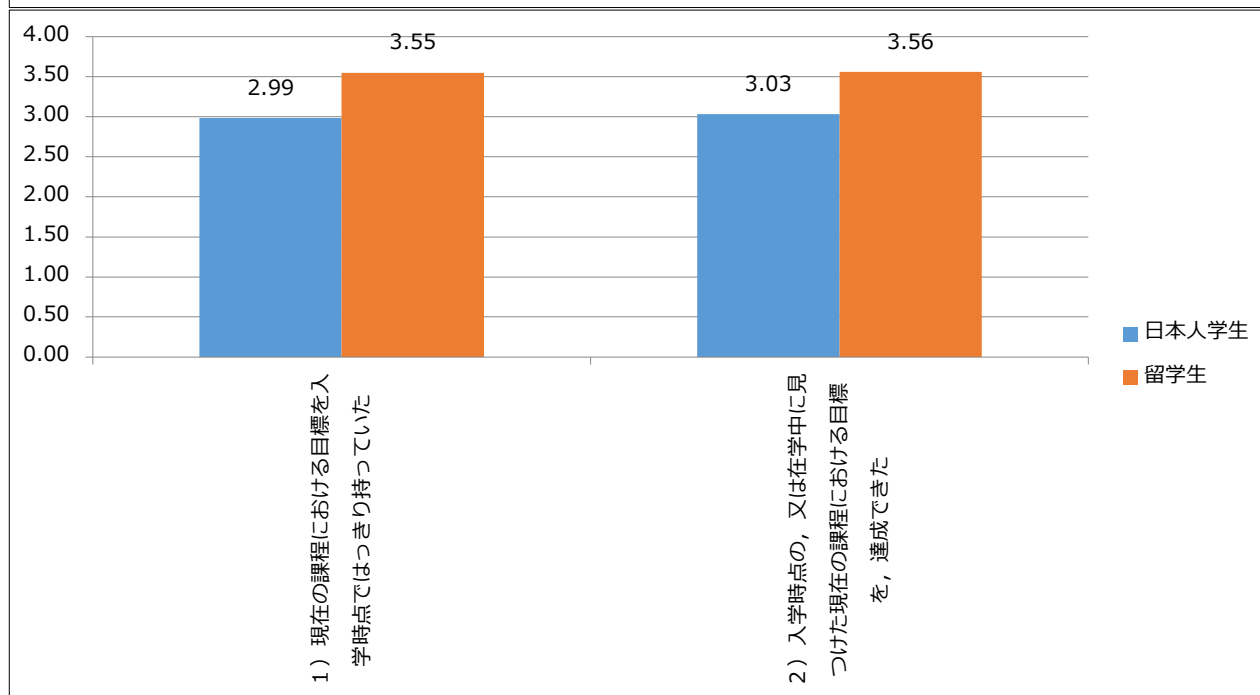
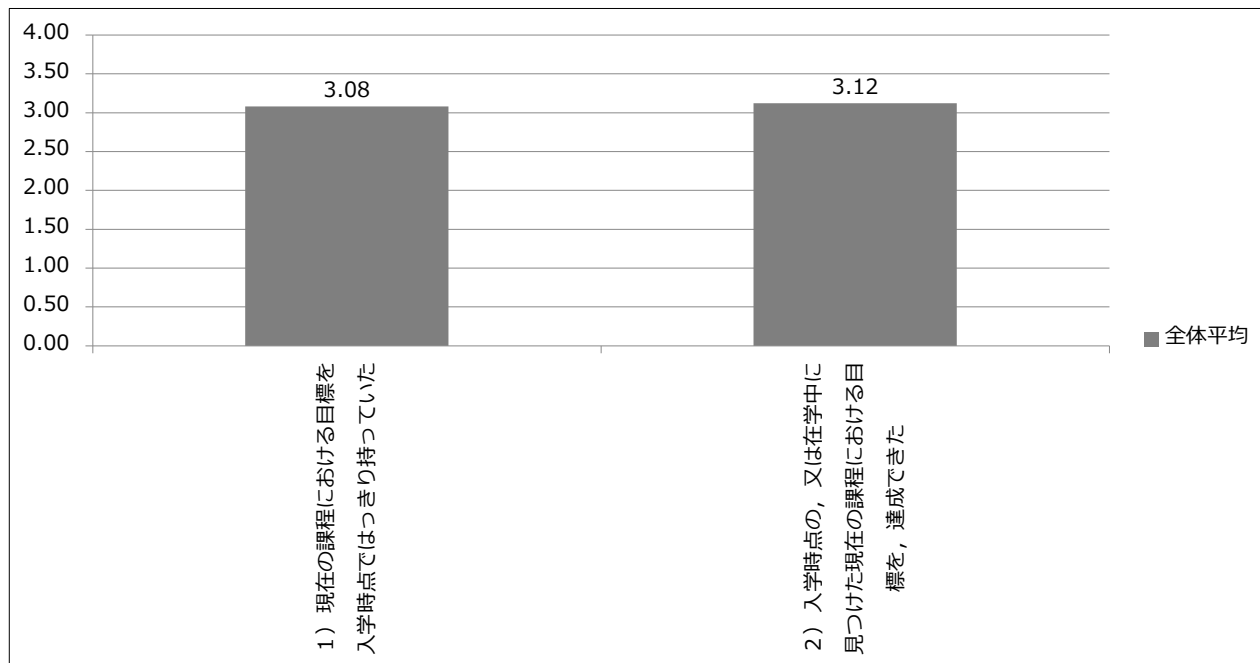
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.08	2.99	3.55
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.12	3.03	3.56

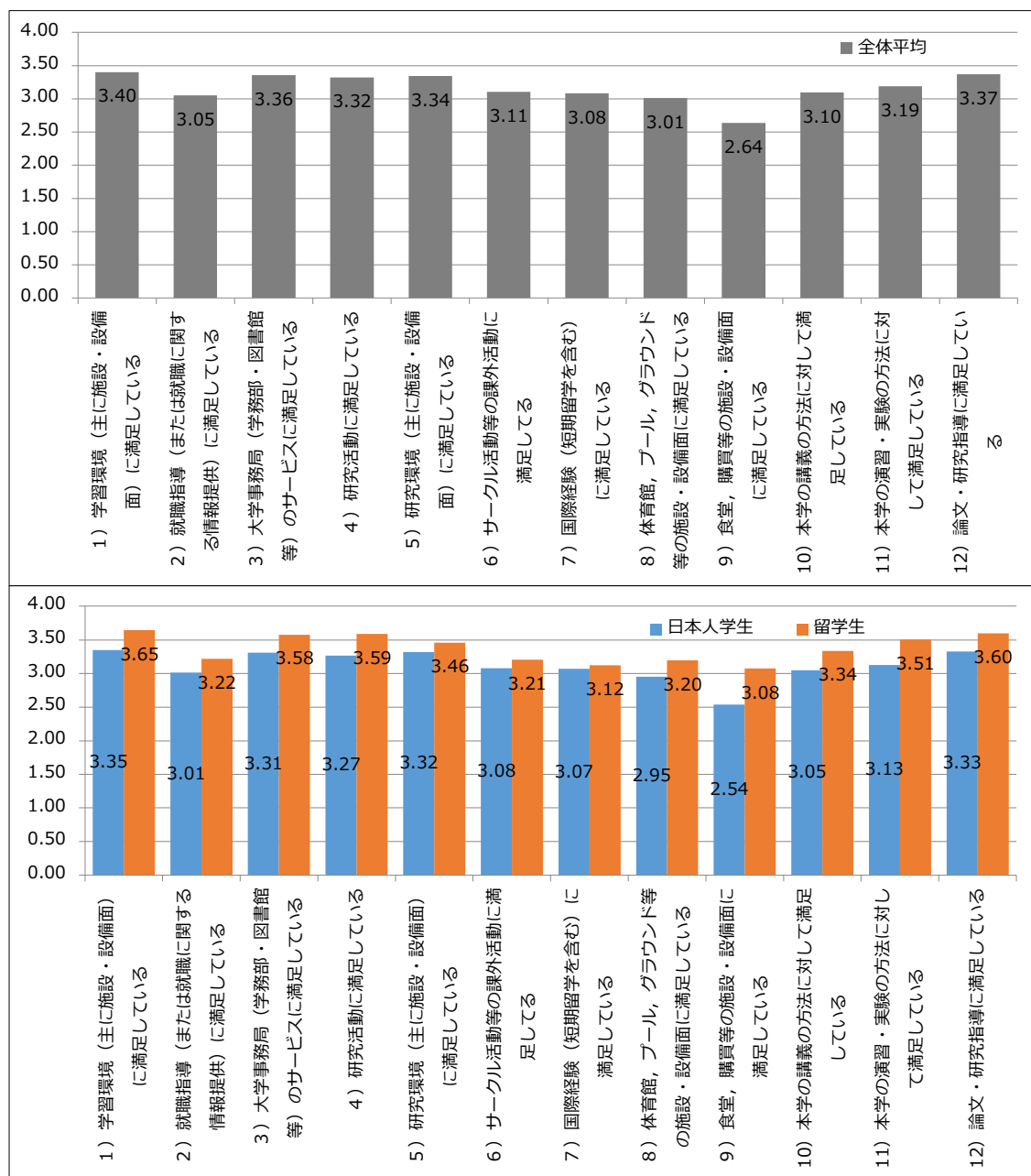
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.40	3.35	3.65
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.05	3.01	3.22
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.36	3.31	3.58
4) 研究活動に満足している	3.32	3.27	3.59
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.34	3.32	3.46
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.11	3.08	3.21
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	3.08	3.07	3.12
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	3.01	2.95	3.20
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.64	2.54	3.08
10) 本学の講義の方法に対して満足している	3.10	3.05	3.34
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.19	3.13	3.51
12) 論文・研究指導に満足している	3.37	3.33	3.60

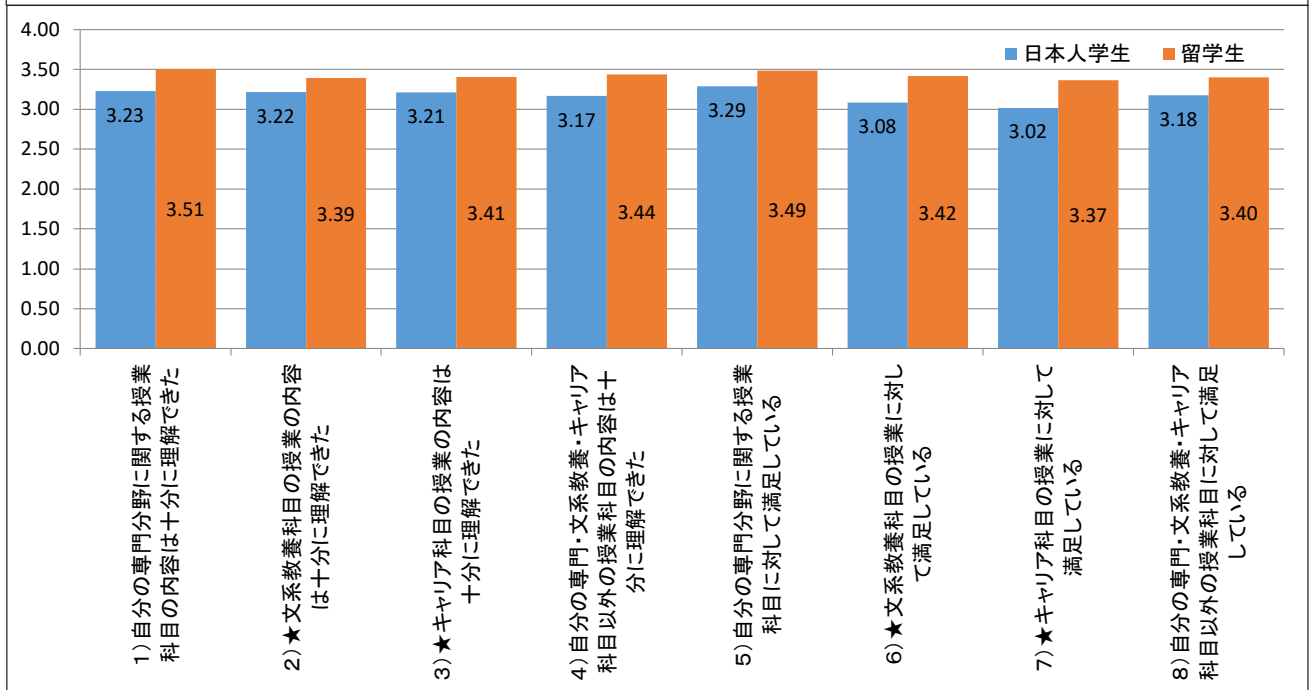
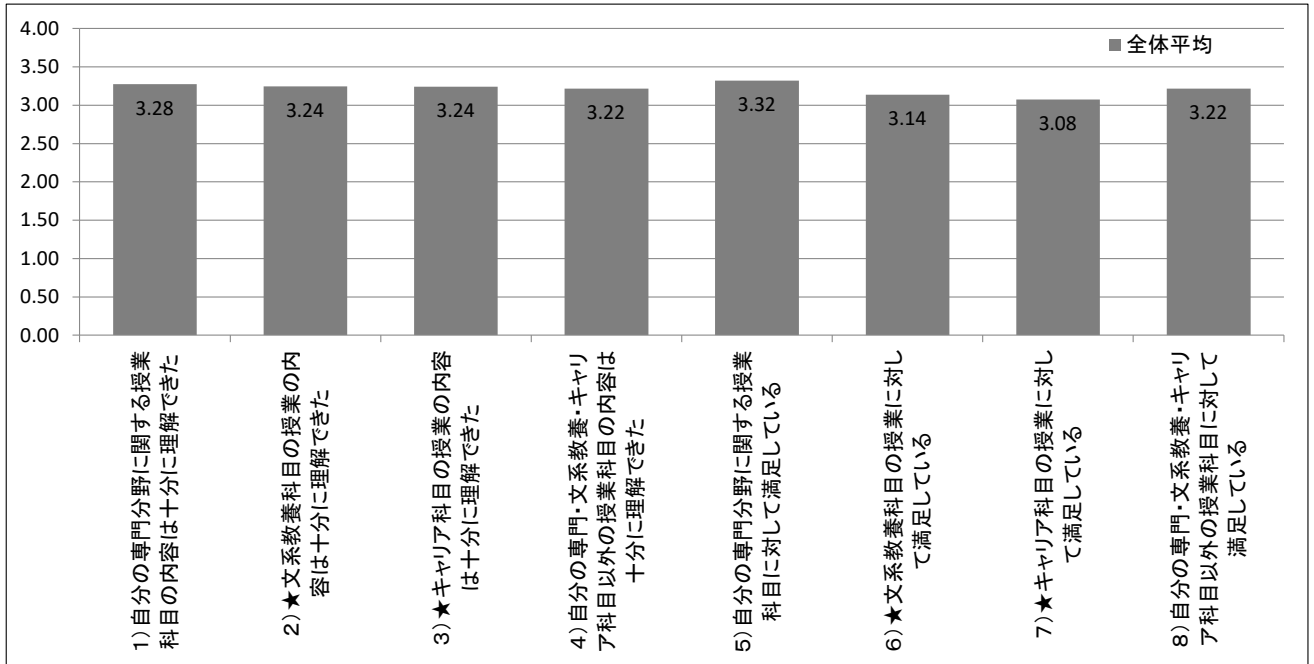
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には「履修していない」以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.28	3.23	3.51
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.24	3.22	3.39
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.24	3.21	3.41
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.22	3.17	3.44
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.32	3.29	3.49
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	3.14	3.08	3.42
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	3.08	3.02	3.37
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.22	3.18	3.40

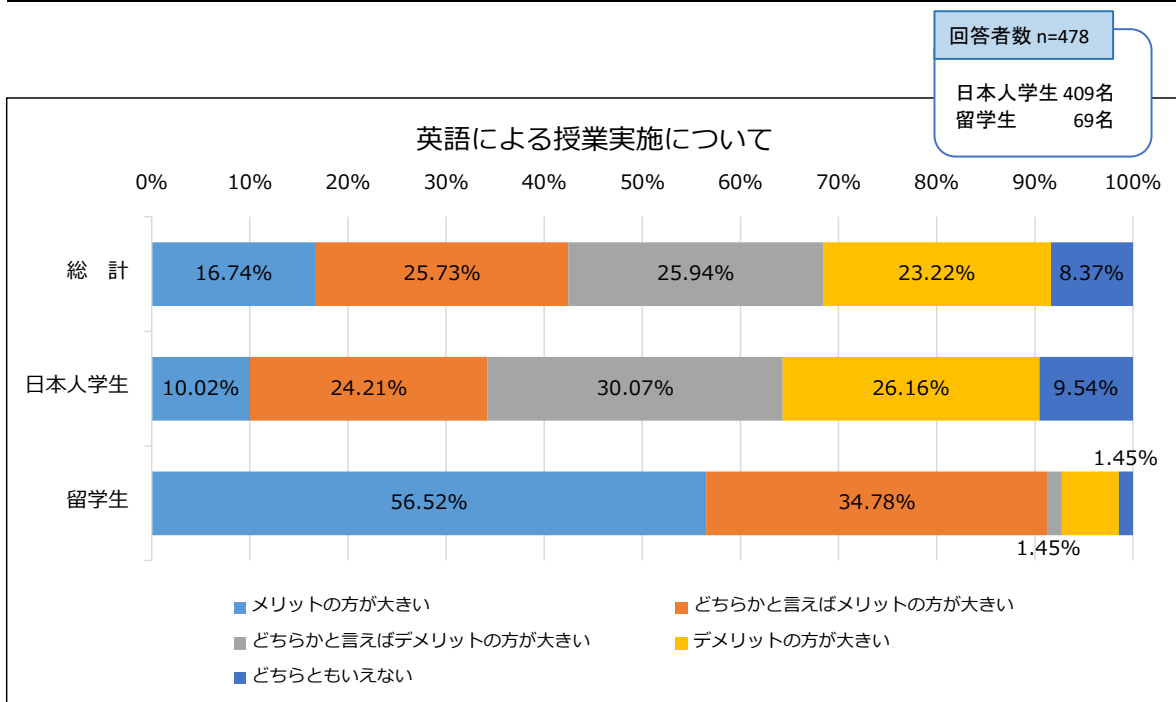
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業実施について

1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

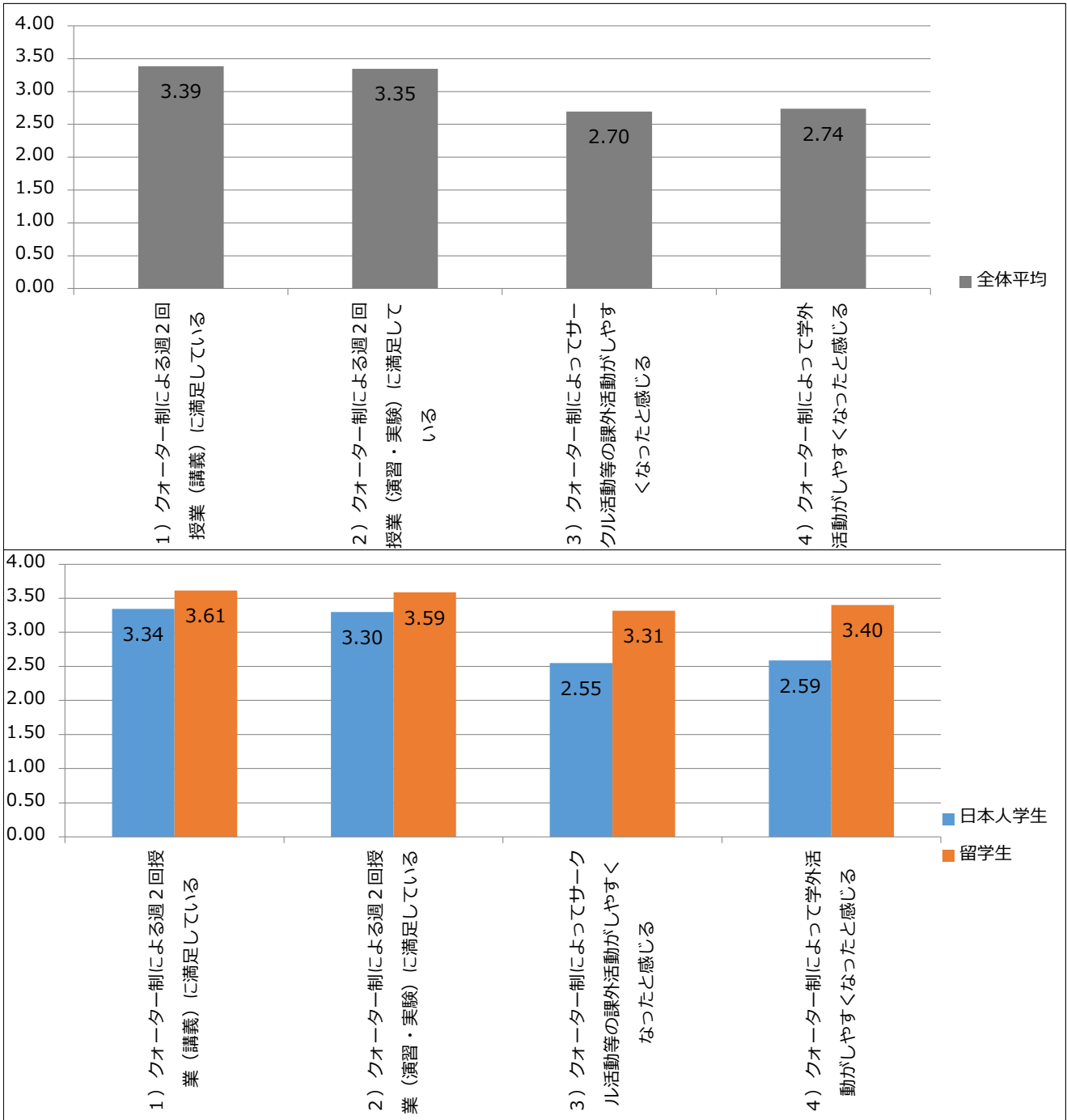
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
メリットの方が大きい	80名	16.74%	41名	10.02%	39名	56.52%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	123名	25.73%	99名	24.21%	24名	34.78%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	124名	25.94%	123名	30.07%	1名	1.45%
デメリットの方が大きい	111名	23.22%	107名	26.16%	4名	5.80%
どちらともいえない	40名	8.37%	39名	9.54%	1名	1.45%
総計	478名	100.00%	409名	100.00%	69名	100.00%
無回答	51名		36名		15名	



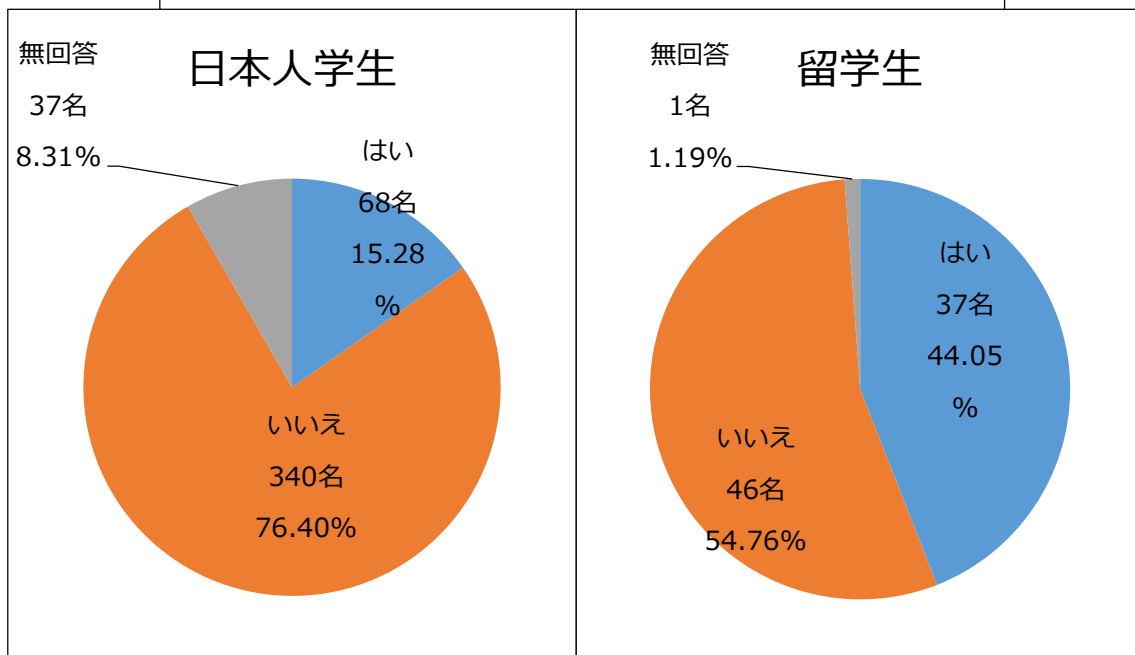
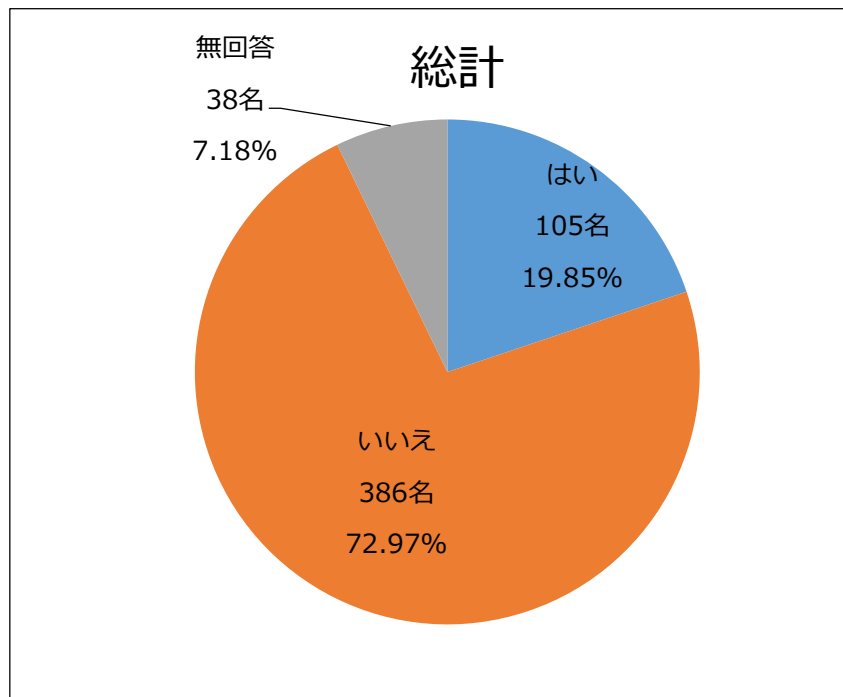
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.39	3.34	3.61
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.35	3.30	3.59
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.70	2.55	3.31
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.74	2.59	3.40

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

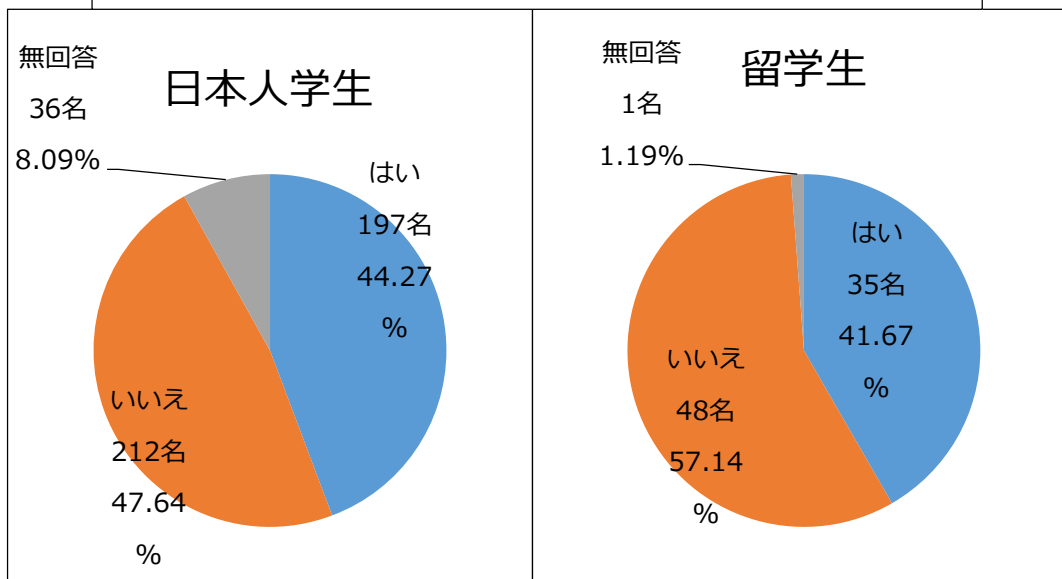
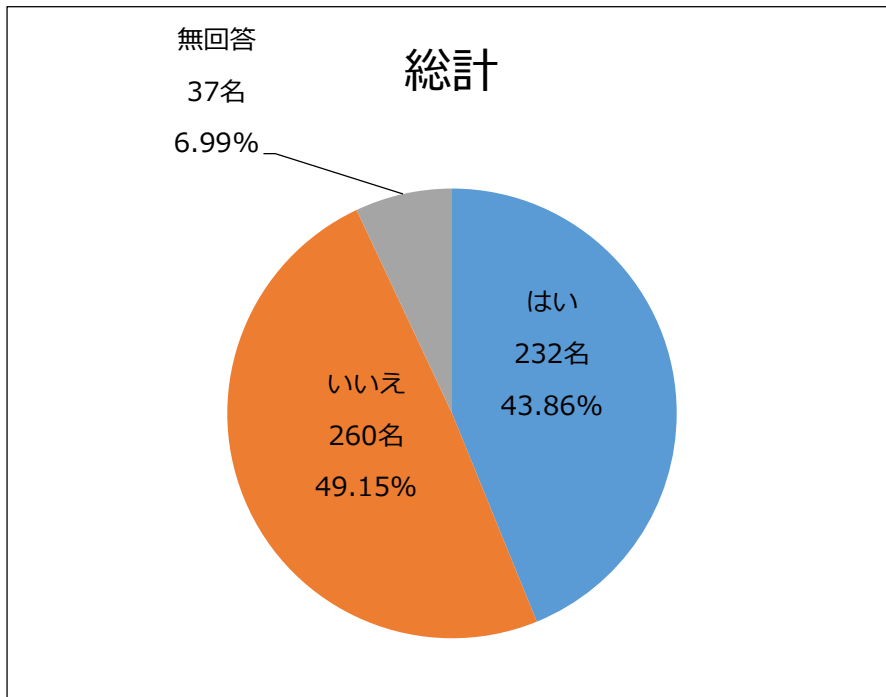


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

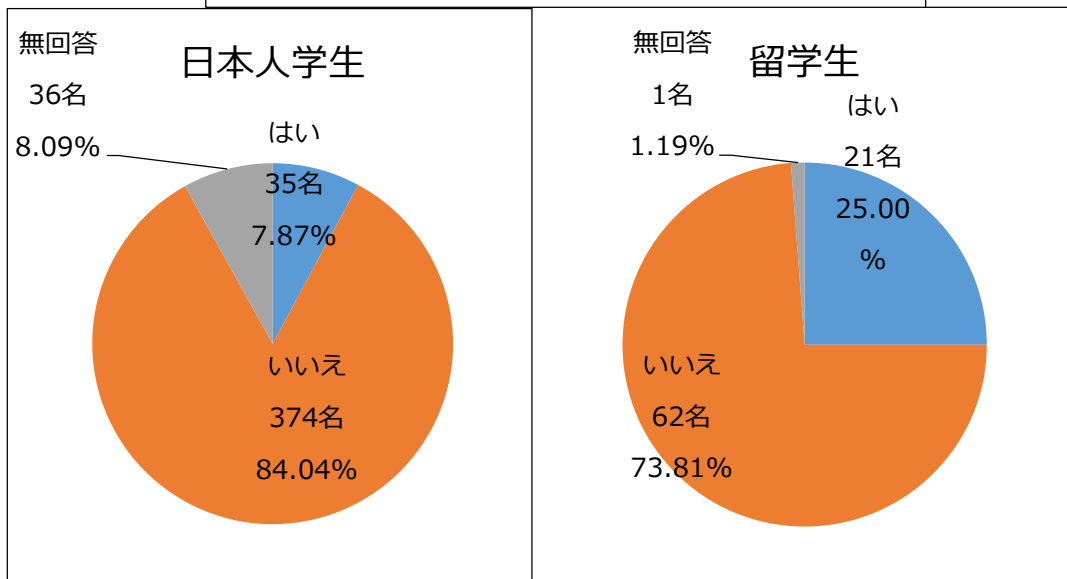
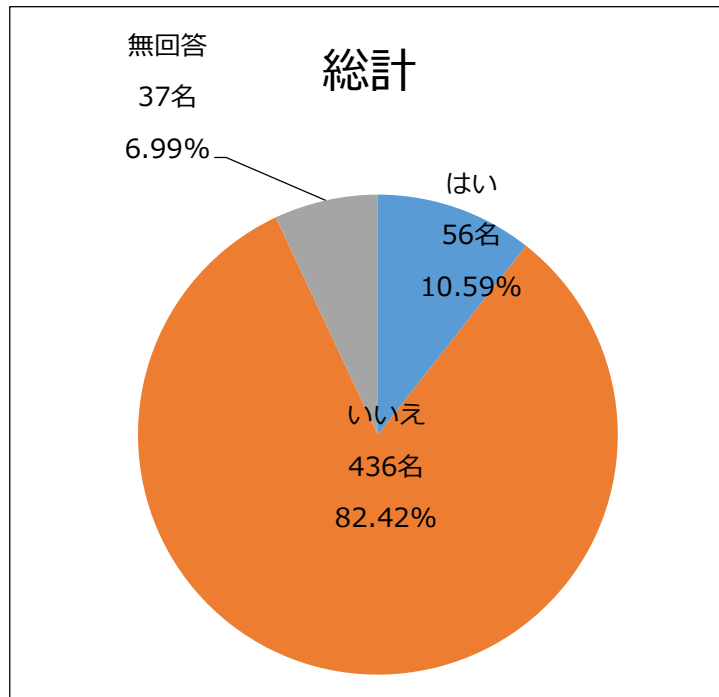


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



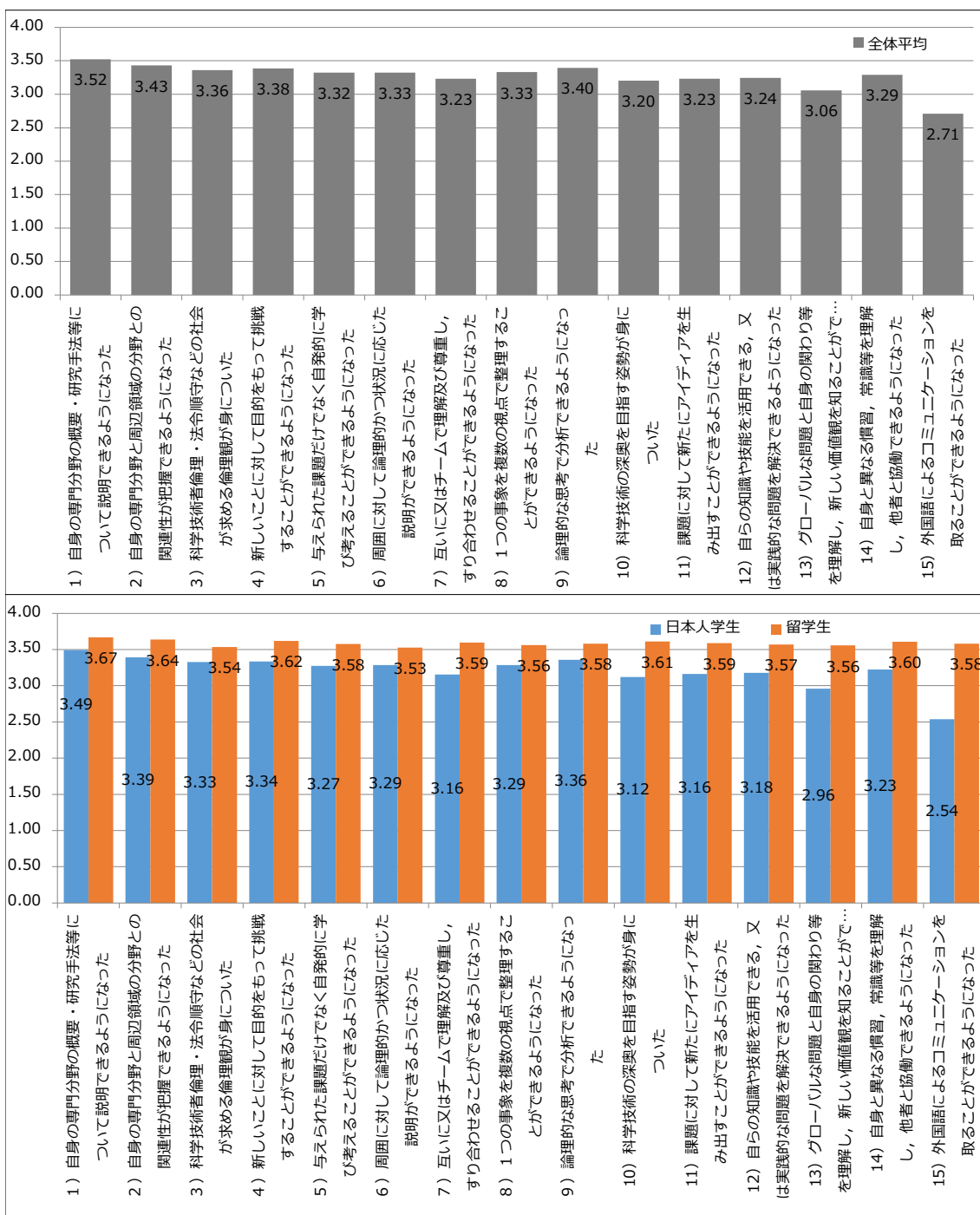
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.52	3.49	3.67
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.43	3.39	3.64
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.36	3.33	3.54
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.38	3.34	3.62
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.32	3.27	3.58
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.33	3.29	3.53
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.23	3.16	3.59
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.33	3.29	3.56
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.40	3.36	3.58
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.20	3.12	3.61
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.23	3.16	3.59
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.24	3.18	3.57
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.06	2.96	3.56
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.29	3.23	3.60
15) 外国語によるコミュニケーションを取ることができるようになった	2.71	2.54	3.58

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

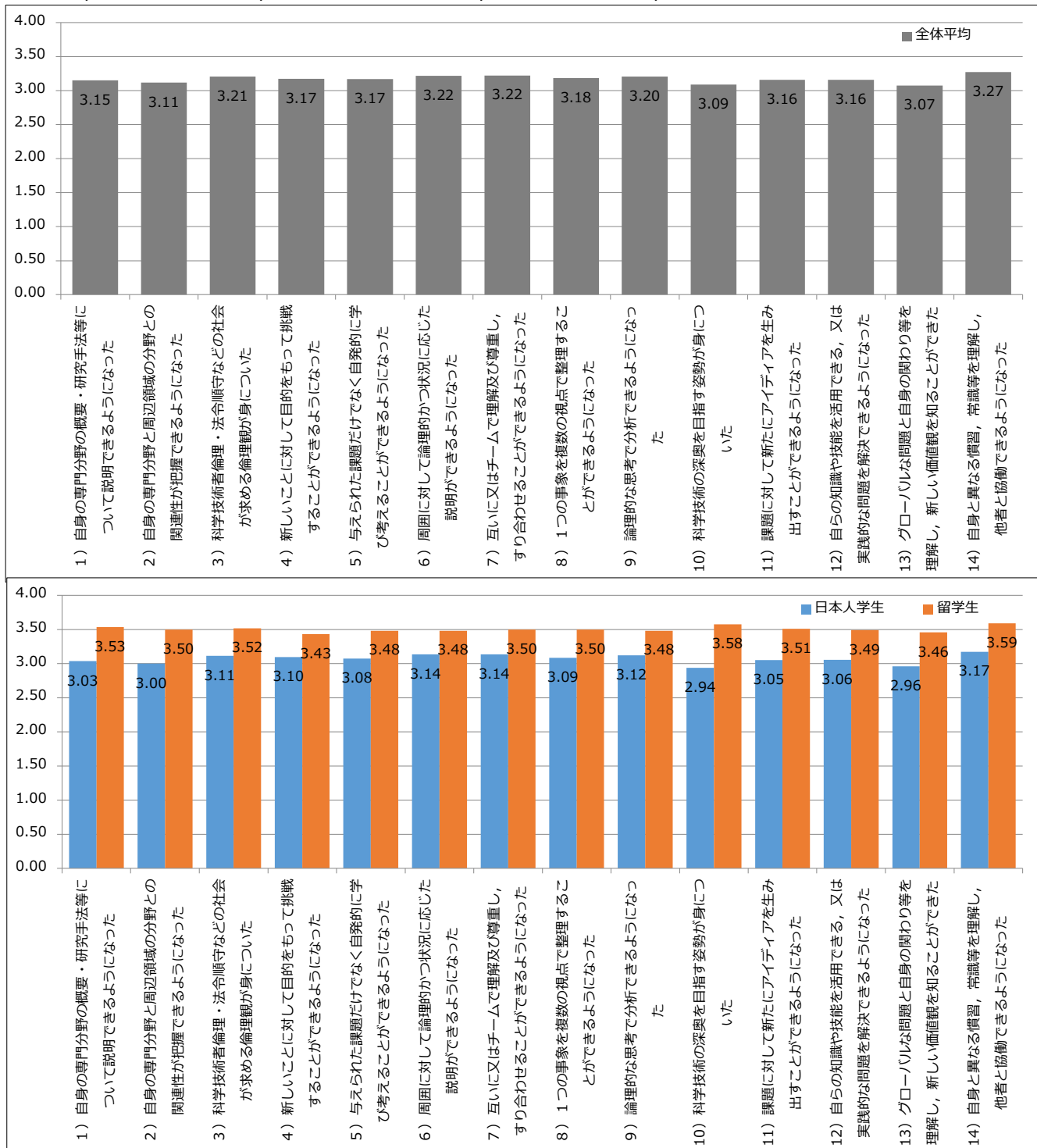


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【コア学修科目】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.15	3.03	3.53
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.11	3.00	3.50
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.21	3.11	3.52
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.17	3.10	3.43
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.17	3.08	3.48
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.22	3.14	3.48
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.22	3.14	3.50
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.18	3.09	3.50
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.20	3.12	3.48
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.09	2.94	3.58
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.16	3.05	3.51
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.16	3.06	3.49
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.07	2.96	3.46
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.27	3.17	3.59

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

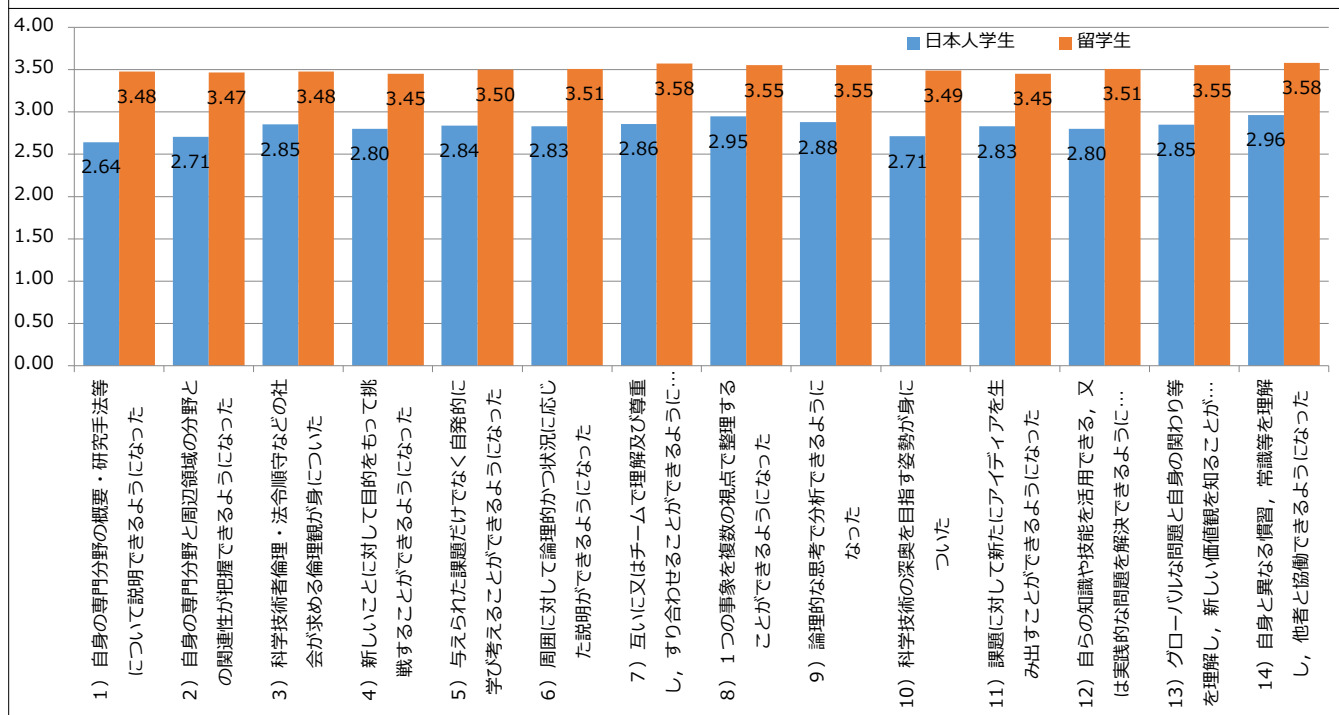
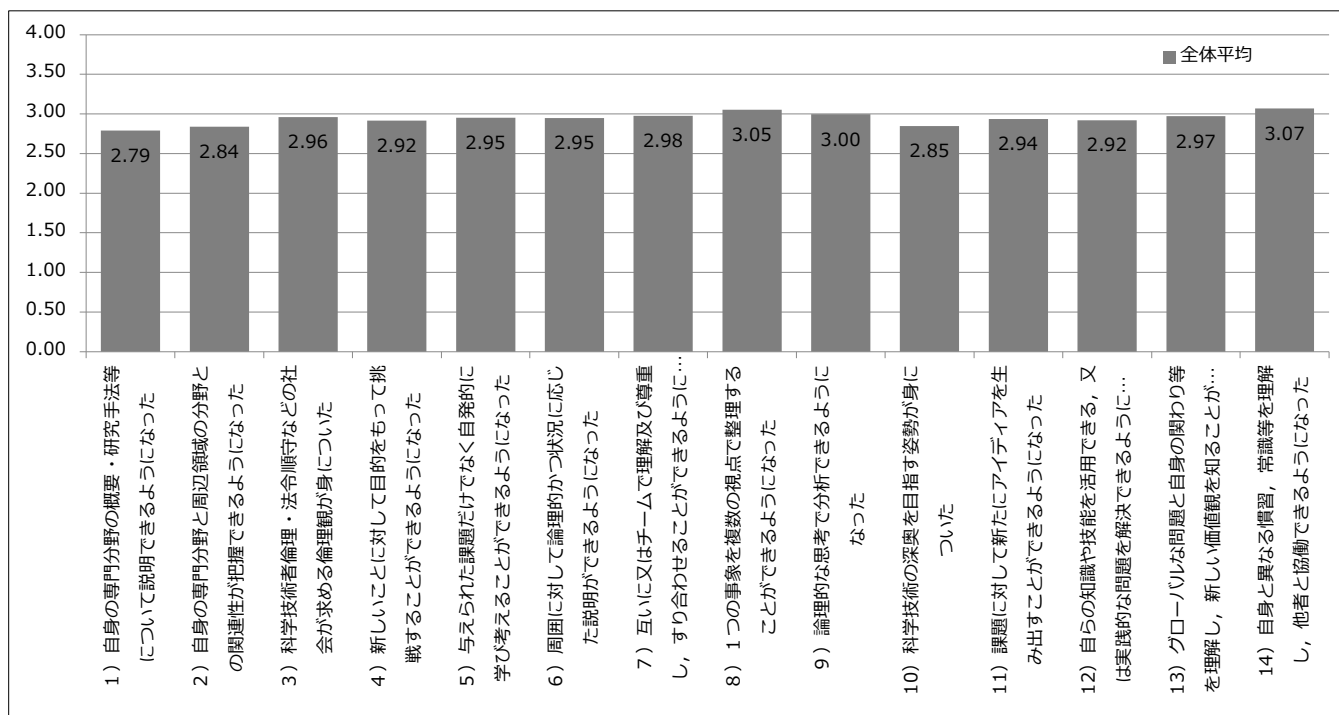


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【文系教養科目(コア学修科目以外)】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	2.79	2.64	3.48
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	2.84	2.71	3.47
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.96	2.85	3.48
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	2.92	2.80	3.45
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	2.95	2.84	3.50
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	2.95	2.83	3.51
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせることができるようになった	2.98	2.86	3.58
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.05	2.95	3.55
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.00	2.88	3.55
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	2.85	2.71	3.49
11) 課題に対して新たにアイデアを思いつくことができるようになった	2.94	2.83	3.45
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	2.92	2.80	3.51
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.97	2.85	3.55
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.07	2.96	3.58

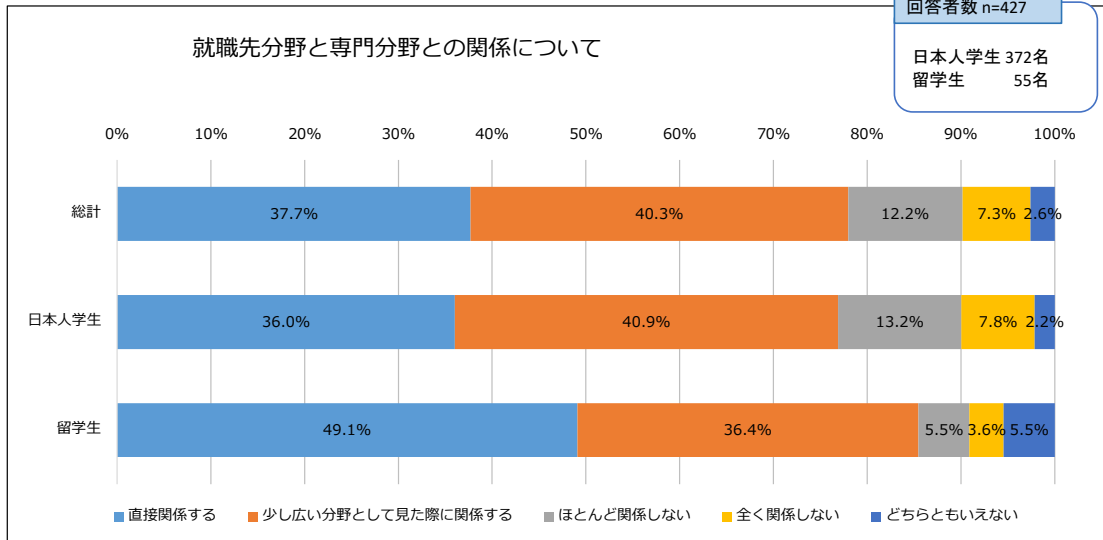
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問8 就職までに至るまでの状況について

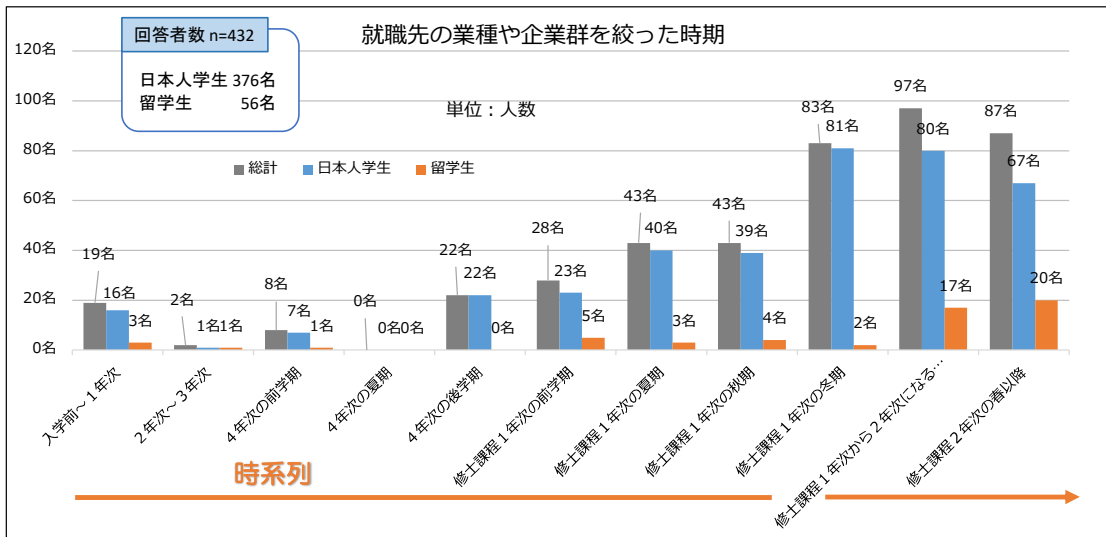
2) 就職先は、学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
直接関係する	161名	37.7%	134名	36.0%	27名	49.1%
少し広い分野として見た際に関係する	172名	40.3%	152名	40.9%	20名	36.4%
ほとんど関係しない	52名	12.2%	49名	13.2%	3名	5.5%
全く関係しない	31名	7.3%	29名	7.8%	2名	3.6%
どちらともいえない	11名	2.6%	8名	2.2%	3名	5.5%
総計	427名	100.0%	372名	100.0%	55名	100.0%
無回答	102名		73名		29名	



4) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について、最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	19名	4.40%	16名	4.26%	3名	5.36%
2年次～3年次	2名	0.46%	1名	0.27%	1名	1.79%
4年次の前学期	8名	1.85%	7名	1.86%	1名	1.79%
4年次の夏期	0名	0.00%	0名	0.00%	0名	0.00%
4年次の後学期	22名	5.09%	22名	5.85%	0名	0.00%
修士課程1年次の前学期	28名	6.48%	23名	6.12%	5名	8.93%
修士課程1年次の夏期	43名	9.95%	40名	10.64%	3名	5.36%
修士課程1年次の秋期	43名	9.95%	39名	10.37%	4名	7.14%
修士課程1年次の冬期	83名	19.21%	81名	21.54%	2名	3.57%
修士課程1年次から2年次になる春期	97名	22.45%	80名	21.28%	17名	30.36%
修士課程2年次の春以降	87名	20.14%	67名	17.82%	20名	35.71%
総計	432名	100.00%	376名	100.00%	56名	100.00%
無回答	97名		69名		28名	



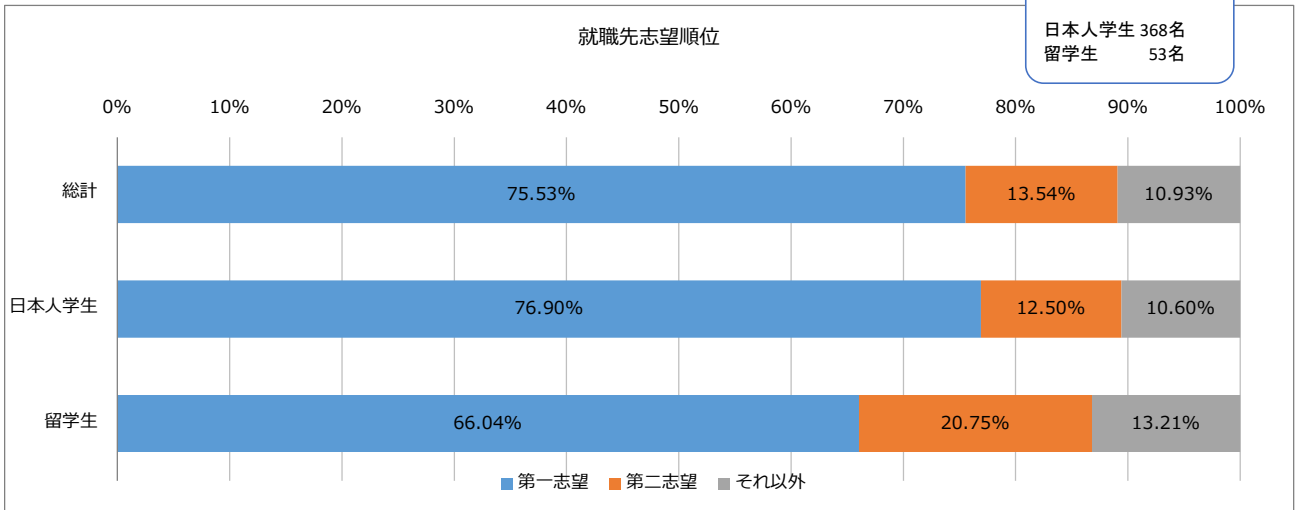
問8 就職までに至るまでの状況について

5) 就職先の志望順位について選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第一志望	318名	75.53%	283名	76.90%	35名	66.04%
第二志望	57名	13.54%	46名	12.50%	11名	20.75%
それ以外	46名	10.93%	39名	10.60%	7名	13.21%
回答者計	421名	100.00%	368名	100.00%	53名	100.00%
無回答	108名		77名		31名	

回答者数 n=421

日本人学生 368名
留学生 53名

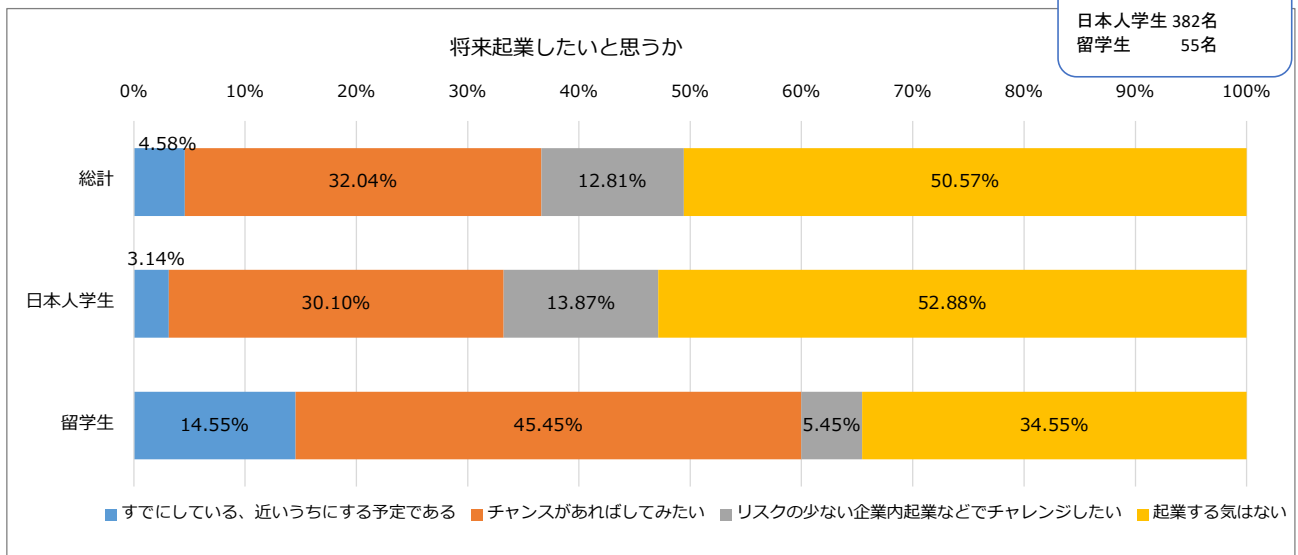


6) 将来的に起業したいと思いますか。最もふさわしいものを1つ選択ください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すでに行っている、近いうちにする予定である	20名	4.58%	12名	3.14%	8名	14.55%
チャンスがあればしてみたい	140名	32.04%	115名	30.10%	25名	45.45%
リスクの少ない企業内起業などでチャレンジしたい	56名	12.81%	53名	13.87%	3名	5.45%
起業する気はない	221名	50.57%	202名	52.88%	19名	34.55%
回答者計	437名	100.00%	382名	100.00%	55名	100.00%
無回答	92名		63名		29名	

回答者数 n=437

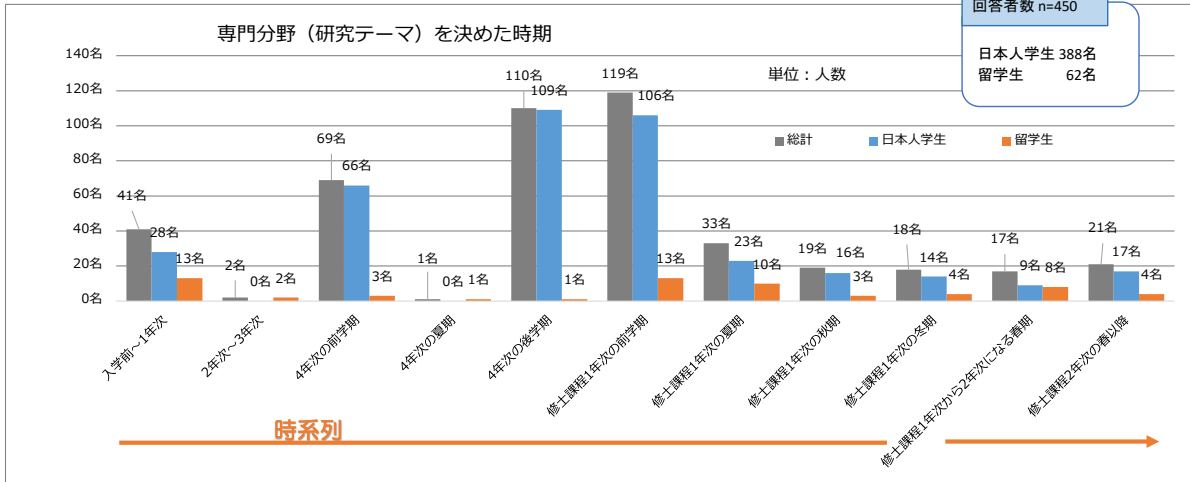
日本人学生 382名
留学生 55名



問8 就職までに至るまでの状況について

7) いくつか具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

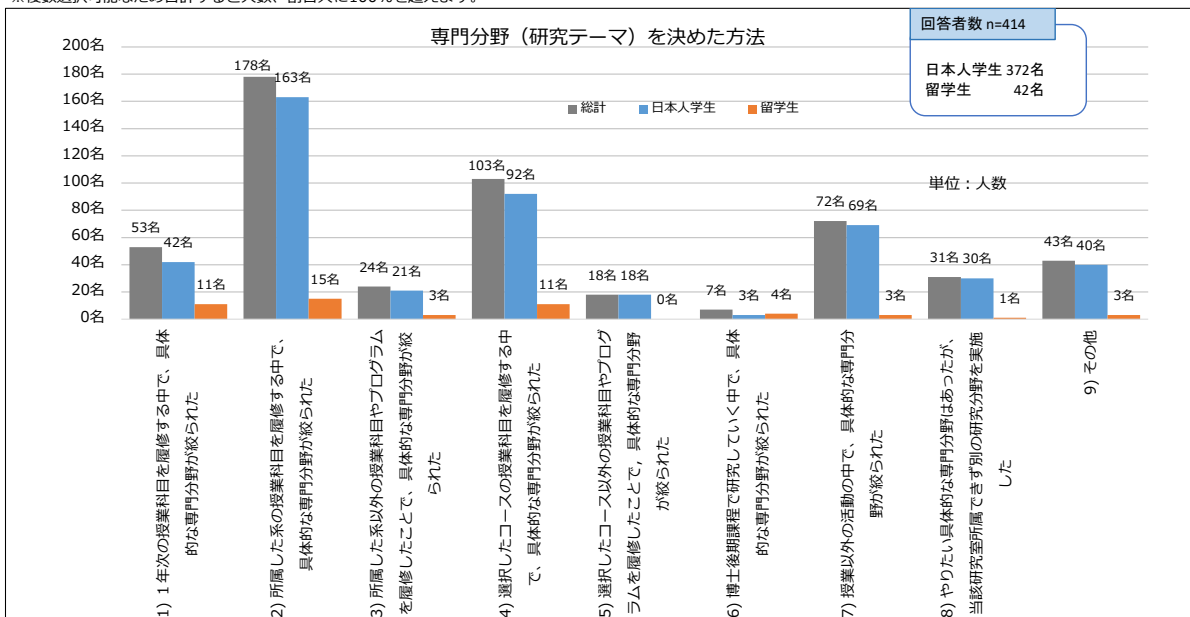
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	41名	9.11%	28名	7.22%	13名	20.97%
2年次～3年次	2名	0.44%	0名	0.00%	2名	3.23%
4年次の前学期	69名	15.33%	66名	17.01%	3名	4.84%
4年次の夏期	1名	0.22%	0名	0.00%	1名	1.61%
4年次の後学期	110名	24.44%	109名	28.09%	1名	1.61%
修士課程1年次の前学期	119名	26.44%	106名	27.32%	13名	20.97%
修士課程1年次の夏期	33名	7.33%	23名	5.93%	10名	16.13%
修士課程1年次の秋期	19名	4.22%	16名	4.12%	3名	4.84%
修士課程1年次の冬期	18名	4.00%	14名	3.61%	4名	6.45%
修士課程1年次から2年次になる春期	17名	3.78%	9名	2.32%	8名	12.90%
修士課程2年次の春以降	21名	4.67%	17名	4.38%	4名	6.45%
総計	450名	100.00%	388名	100.00%	62名	100.00%
無回答	79名		57名		22名	



8) 具体的な専門分野（研究テーマなど）をどのように絞っていきましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。

問8-8) の回答学生数	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	53名	12.80%	42名	11.29%	11名	26.19%
2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	178名	43.00%	163名	43.82%	15名	35.71%
3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	24名	5.80%	21名	5.65%	3名	7.14%
4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	103名	24.88%	92名	24.73%	11名	26.19%
5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	18名	4.35%	18名	4.84%	0名	0.00%
6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた	7名	1.69%	3名	0.81%	4名	9.52%
7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた	72名	17.39%	69名	18.55%	3名	7.14%
8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した	31名	7.49%	30名	8.06%	1名	2.38%
9) その他	43名	10.39%	40名	10.75%	3名	7.14%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

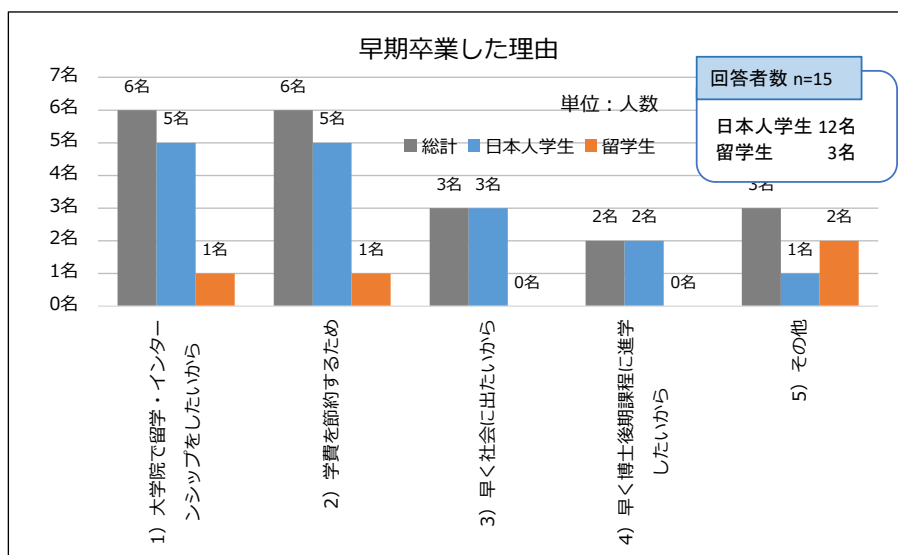


問8 就職までに至るまでの状況について

9) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。(複数回答可)

問8-9) の回答学生数	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 大学院で留学・インターンシップをしたいから	6名	40.00%	5名	41.67%	1名	33.33%
2) 学費を節約するため	6名	40.00%	5名	41.67%	1名	33.33%
3) 早く社会に出たいから	3名	20.00%	3名	25.00%	0名	0.00%
4) 早く博士後期課程に進学したいから	2名	13.33%	2名	16.67%	0名	0.00%
5) その他	3名	20.00%	1名	8.33%	2名	66.67%

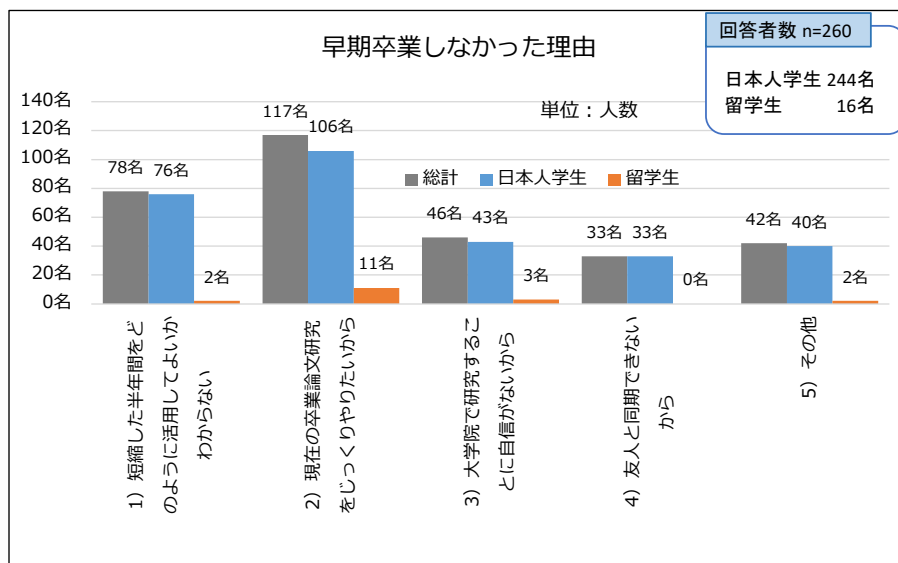
※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



10) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。(複数回答可)

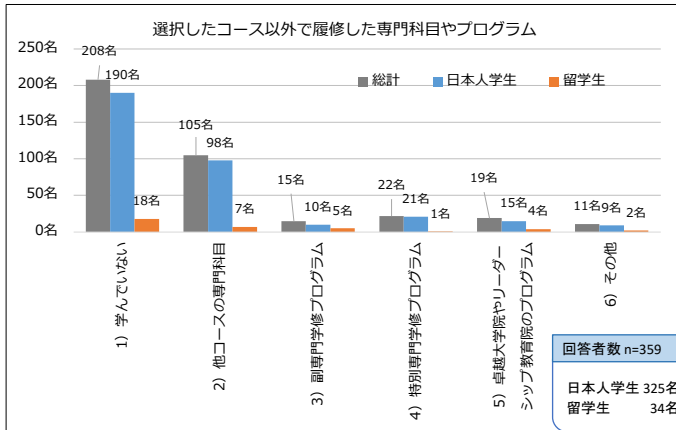
問8-10) の回答学生数	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない	78名	25.98%	76名	27.08%	2名	8.33%
2) 現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから	117名	54.41%	106名	53.13%	11名	75.00%
3) 大学院で研究することに自信がないから	46名	14.71%	43名	14.06%	3名	25.00%
4) 友人と同期できないから	33名	9.80%	33名	10.42%	0名	0.00%
5) その他	42名	18.63%	40名	19.79%	2名	0.00%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



問8 就職までに至るまでの状況について

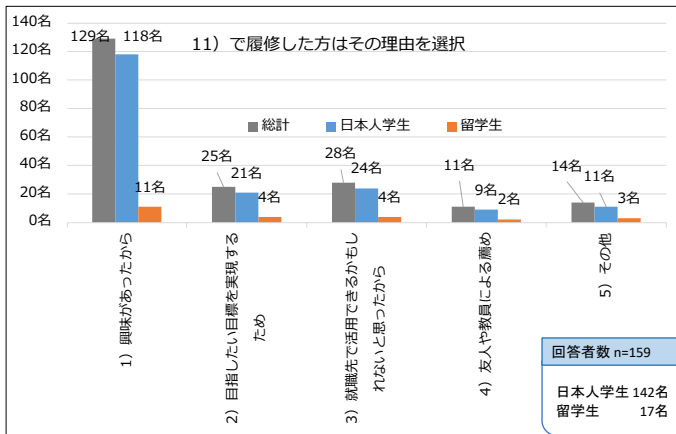
11) 選択したコースのカリキュラム以外（文系教養科目、キャリア科目を除く）で履修した専門科目やプログラムを選択してください。（複数回答可）



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 学んでいない	208名	57.94%	190名	58.46%	18名	52.94%
2) 他コースの専門科目	105名	29.25%	98名	30.15%	7名	20.59%
3) 副専門学修プログラム	15名	4.18%	10名	3.08%	5名	14.71%
4) 特別専門学修プログラム	22名	6.13%	21名	6.46%	1名	2.94%
5) 卓越大学院やリーダーシップ教育院のプログラム	19名	5.29%	15名	4.62%	4名	11.76%
6) その他	11名	3.06%	9名	2.77%	2名	5.88%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

12) 11)で履修した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 興味があったから	129名	81.13%	118名	83.10%	11名	64.71%
2) 目指したい目標を達成するため	25名	15.72%	21名	14.79%	4名	23.53%
3) 就職先で活用できるかもしれないと思ったから	28名	17.61%	24名	16.90%	4名	23.53%
4) 友人や教員による薦め	11名	6.92%	9名	6.34%	2名	11.76%
5) その他	14名	8.81%	11名	7.75%	3名	17.65%

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

13) 11)で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
強くそう思う	53名	34.19%	40名	30.77%	13名	52.00%
そう思う	76名	49.03%	66名	50.77%	10名	40.00%
そう思わない	13名	8.39%	12名	9.23%	1名	4.00%
全く思わない	2名	1.29%	2名	1.54%	0名	0.00%
どちらともいえない	11名	7.10%	10名	7.69%	1名	4.00%
回答者計	155名	100.00%	130名	100.00%	25名	100.00%

回答者数 n=155

日本人学生 130名
留学生 25名

